# 人口人口 48

芝浦工業大学客員教授　谷口博昭

## 「防災道の駅」から地方創生など新たな展開へ

第9回を迎えた道の駅「リレー防災セミナー」が3月24日、道の駅「厚岸グルメパーク」（北海道）と日本記者クラブの東京会場をオンラインで結び実施された。

筆者の基調講演の後、山崎俊己（一社）エコロジー・カフェ理事長のコーディネーターによるパネルディスカッション「防災道の駅～人が紡ぐ点から線へ、そして面へ～」が行われた。続いて北海道開発局、技術センター、観光協会、ねむろ北太平洋シーニックバイウェイの各関係者と「厚岸グルメパーク」駅長の5人のパネリストの発表、その後地元の方々6人のインタビューと熊野稔宮崎大学大学院教授（当時）の事例紹介のビデオ放映があった。

「防災道の駅」とシーニックバイウェイの役割・意義・課題が明らかになり、両事業の連携による地方創生などの新たな展開を予感させる実り多いセミナーであった。

我が国は災害が頻発する国土、近い将来生起が予想される巨大地震等に備え防災・減災等国土強靭化と地方創生との連携によるリスク分散型国土形成が急務であり、交流・連携を促進し地方創生に資する「道・街道」を生かすことが肝要だ。基調講演では、我が国の「道・街道の文化」に触れ、「人が紡ぐ点から線へ、そして面へ」の展開として、地域の在るべきビッグピクチャー（全体俯瞰図）を描き、共有し、その達成に向け、失敗を修正・改善により乗り越えるタフな精神で行動・前進することを期待した。

道の駅発足から30年。「リレー防災セミナー」が全国一巡した今、道の駅第3ステージと位置付け「地方創生・観光を加速する拠点へ」進化する取り組みの流れに沿って、防災と共に地方創生の拠点強化に取り組むことが肝要だ。先進的な取り組みの北海道に学び、道の駅と日本風景街道との連携を強化し、次回セミナー開催予定の道の駅「あらい」（新潟県妙高市）で、各地の前進した姿が見られることを期待する。